

ギンリョウソウ（市島町）：別名ユウレイタケ。大きさは10～20cm程度。花期は5～8月。



令和5年度丹波市環境報告書 (令和4年度実績)【概要版】

～丹波の森と農を活かし、人と自然が共生する源流のまち～



「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました！

地球温暖化の気温上昇による気候変動は気候危機とも呼ばれ、農林水産業、水資源、自然生態系、自然災害、健康、産業・経済活動等へのさらなる影響が出ると指摘されています。

これらの影響は丹波市にとっても看過できないものであり、市民、事業者、行政が一丸となって取り組むべき課題です。

丹波市らしい環境を守り、創造し、まだ見ぬ子孫に誇れるように、また、地球規模の課題である気候変動の解決及び脱炭素社会の実現に向けて丹波市全体で取り組んでいくため、令和4年12月27日に丹波市長と丹波市議会議長の連名で、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

丹波市ゼロカーボンアクション

ロスなく食べよう

- ・食材を購入する際、食べられる分だけを買う
- ・地元の食材の購入を検討する



節水を心がけよう

- ・洗濯や食器はまとめて洗う
- ・買い換えの際は、節水型の洗濯機やシャワーヘッドを検討する



くらしの工夫で節電をしよう

- ・使わない時は照明等の電源を切る
- ・服装を工夫し、エアコンの設定温度の上げ過ぎや下げ過ぎを控える



ごみの分別、5Rを心がけよう

- ・マイバッグ、マイボトル等を使用する
- ・ごみ分別パンフレットやごみ分別アプリを活用する



サステナブルなファッションを

- ・長く着られる服を選ぶ
- ・環境ラベル等がある服を選ぶ



脱炭素型の製品に注目しよう

- ・環境ラベルが付いた商品などを選ぶ
- ・簡易な包装のものを選ぶ



再生可能なエネルギーを

- ・蓄電池、蓄エネ給湯器等の導入を検討する
- ・薪ストーブ等、生活の中に木を取り入れることを検討する



移動はエコに健康に

- ・エコドライブの実施に努める
- ・近場への移動を徒歩や自転車で行う



丹波市ゼロカーボンシティ宣言

気候変動による気候変動は世界各地で深刻な被害や大規模な災害を引き起こしています。世界の平均気温は2020年時点で、産業革命以前と比べて約1.1℃上昇したことが示されており、このままの状況が続けばさらに気温が上昇すると予測されています。この気温上昇による気候変動は気候危機とも呼ばれ、農林水産業、水資源、自然生態系、自然災害、健康、産業・経済活動等へのさらなる影響が与えると指摘されています。

気候変動の課題である気候変動問題の解決に向けては、2021年11月にグラスゴー気候合意が採択され、パリ協定で示された世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて1.5℃未満に抑えることを目標として再確認し、そのためには今世紀半ばまでに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする必要があることが定められました。

本市は、加古川と由良川の七瀬川に流れる清流のまちであり、瀬川で採れた中央分水界である水たけのほら、水産物の7割を占める養蚕や、密着の生産活動が継承されてきた養蚕産物、環境に配慮した農業による農産物の生産など、豊かな自然を有しています。

このような風土から受け継いだ自然の恵みを、丹波らしい環境を創造し、まだ見ぬ子孫に誇れるように、また、気候変動の課題である気候変動の解決及び脱炭素社会の実現に向けて、市民や事業者などの多様な主体との連携により、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「丹波市ゼロカーボンシティ宣言」を表明します。

令和4年12月27日

丹波市長

丹波市議会議長

林 時彦

垣内 廣明



丹波市ゼロカーボンシティ宣言
についてはこちら

丹波市地域おこし協力隊員が活動しています！

令和3年10月から生物多様性分野に係る地域おこし協力隊員として、尾形真依子隊員を委嘱しています。

尾形隊員は、現在市内のこども園や子育て学習センターなどで「しぜんたいけんプログラム」を実施するなど、生物多様性の体験や普及啓発を行っています。

「しぜんたいけんプログラム」では、虫取りをしてから虫の拡大観察など、普段目にしない部分を見ることができ、子ども達の好奇心を刺激しています。また、親子で「しぜんたいけん」に参加してもらうことで、子どもだけでなく親も自然に触れるきっかけとなっています。



委嘱式の様子



「しぜんたいけんプログラム」
チラシ



虫を拡大観察する様子
（「しぜんたいけんプログラム」）

薪ストーブ

木質バイオマス推進の一環として、薪ストーブ・薪ボイラーの設置補助を行っています。



環境にやさしい暖房器具！

丹波市では、森林の未利用地などの地域資源である木材をエネルギーとして活用することによって、化石燃料から木質バイオマス燃料への転換を図り、二酸化炭素の排出削減、里山の整備の促進等を目的に、薪ストーブ・薪ボイラーを設置される方へ、設置費用の一部を補助しています。

森林の伐採で作られた木材をエネルギーとして燃やすと、二酸化炭素が発生します。しかし、この二酸化炭素は、伐採後に森林が新しくなれば、その成長過程で再び樹木に吸収されるため、大気中の二酸化炭素濃度に影響を与えません。これを、カーボンニュートラルといいます。

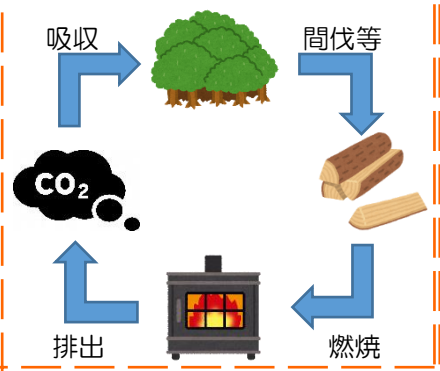


青垣住民センター薪ストーブ

バイオマスって？

動植物から生まれた、再利用可能な資源（石油などの化石燃料を除く）のこと。トウモロコシや家畜の糞、生ごみ等。バイオマスの中でも木材由来のものを「木質バイオマス」といいます。

カーボンニュートラルの考え方（図解）



補助金についてはこちら

令和4年度の実施結果(進捗状況一覧表)

基本目標	取組名	環境指標名	担当課	進捗状況	総合評価
1	森林整備の推進	森林整備面積(経済林)	農林振興課	○	○
	住宅への地元産材の利用促進	使用木材量(個人物件のみ)	農林振興課	◎	
	森林整備の推進	環境保全林整備面積	農林振興課	◎	
	農地の保全の推進(多面的機能支払交付金事業の推進)	活動面積	農林振興課	◎	
	環境創造型農業の推進	有機農業生産者数(有機JAS認証農家数)	農林振興課	○	
		有機農業生産面積	農林振興課	○	
	有害鳥獣や外来生物の防除	鳥獣被害防止柵設置総延長(累計)	農林振興課	○	
		有害鳥獣による農業被害数	農林振興課	○	
	地域協働による森林整備活動の取組の推進	森林山村多面的機能発揮対策交付金交付組織数	農林振興課	○	
		森林山村多面的機能発揮対策交付金交付組織取組面積		○	
2	担い手農業者の育成支援	認定農業者数(累計)	農林振興課	○	○
		集落営農組織数(累計)	農林振興課	○	
	新規就農者の育成支援	認定新規就農者数	農林振興課	◎	
2	ごみの資源化推進	ごみのリサイクル(資源化率)	環境課	○	○
	ごみの発生抑制	一人一日当たりごみ発生量	環境課	○	
3	丹波市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の実施	温室効果ガス排出量	氷上支所	◎	○
	低公害車の導入促進	公用車の低公害車率	資産活用課	△	
	公共交通の利用促進	JR福知山線7駅の乗車人員	ふるさと定住促進課	○	
		路線バス利用者	ふるさと定住促進課	○	
		デマンド(予約)型乗合タクシー利用者	ふるさと定住促進課	○	
		デマンド(予約)型乗合タクシー利用者	ふるさと定住促進課	○	
	木質バイオマスエネルギーの導入促進	薪ストーブ・薪ボイラー購入補助台数(累計)	環境課	○	
	木質バイオマスへの転換量	取扱原木量(薪)	環境課	△	
4	地球温暖化防止対策推進事業所認定制度の普及	地球温暖化防止対策推進事業所認定件数(累計)	環境課	○	◎
	安全・安心の機能確保	防災訓練を行っている自主防災組織数	くらしの安全課	△	
	不法投棄の防止対策	不法投棄件数	環境課	△	
	地域への委託による河川環境整備事業及び地域主体による河川愛護活動の実施	河川愛護活動・河川環境整備事業取組自治会割合	河川整備課	○	
	浄化槽の普及促進	浄化槽整備率	環境課	◎	
	水洗化の促進	下水道接続率	下水道課	◎	
	沿道、公園の緑化促進	緑化資材提供団体数	都市住宅課	△	
	屋外広告物の適正指導	是正指導件数	都市住宅課	◎	
5	管理不全な空き家に対する行政指導等	特定空き家等認定解除件数	都市住宅課	◎	◎
	空き地の適正管理	不適正管理地指導件数	環境課	◎	
	空き家の流通支援	住まいるバンク成約件数	ふるさと定住促進課	◎	
	環境美化活動の推進	丹波市一斉クリーン作戦参加者数	環境課	○	
	青垣いきものふれあいの里の利用促進	いきものふれあいの里来館者数	社会教育・文化財課	◎	
		いきものふれあいの里講座受講者数	社会教育・文化財課	◎	
	氷上回廊水分けフィールドミュージアムの利用促進	氷上回廊水分けフィールドミュージアムの入館者数	社会教育・文化財課	◎	
		氷上回廊水分けフィールドミュージアムのイベント参加者数	社会教育・文化財課	◎	
5	生物多様性ホームページによる情報発信	氷上回廊ホームページアクセス数	環境課	◎	◎
	学校給食への地場農産物の使用	丹波市産農産物(野菜主要15品目)の使用割合	農林振興課	○	



環境報告書はこちらからダウンロードできます

⇒ <https://www.city.tamba.lg.jp/site/kankyoka/list197-465.html>



丹(まごころ)の里

丹波市

丹波市 生活環境部 環境課

〒669-3692 兵庫県丹波市氷上町成松字甲賀1番地

TEL: 0795-82-1001 (代表) FAX: 0795-82-5448

E-mail: kankyou@city.tamba.lg.jp